

純米大吟醸

特集

made
in
多久

多久

／多久を思う純度100%の酒／



市民主体のまちおこし

発起人で代表の小川さんは「仕事をとおして、多久を盛り上げようと取り組んでいる人たちにたくさん出会つてきました。しかし、資金不足のために、実現や継続ができずにいる姿も見てきました。そういう人たちを市民活動で支援したいという思いに突き動かされ、日本酒を造り、その収益で支援することを企画しました。せっかくなら、酒どころの多久の地で、多久のコメと水、そして多くの“人”で日本酒を造り、その販売収益を基金に積み立て、活用したい」と話されます。



地域を盛り上げようと、市民によるメイドイン多久の日本酒が、今年2月に完成しました。多久で頑張る人たちの支援に立ち上がった「多久の酒委員会」のみなさん。地元への思いと、こだわりの酒が完成するまでをご紹介します。

こだわりの酒造り

「みんな、多久のために何かしたい」という気持ちはあったんですね。それが、これを機に行動に移すことができました」と川原田さん。仲間を募り、昨年5月に多久で頑張る人を支援し、多久の未来を創るプロジェクト「多久の酒委員会」を発足させ、活動をスタートしました。



メンバーには、酒造りに欠かせない東鶴酒造の野中保斎杜氏、そして農家の永石憲彦さんも加わり、2,700

た純米大吟醸「多久」
さとうけい
ティストの佐藤圭先生
た。